

# 令和8年度 学校研究 推進計画

## 1. 研究主題

自らの学びを求める生徒の育成（3年次）  
～学びの本能にスイッチを入れる授業づくり～

## 2. 主題設定にあたって

遊佐中学校では『自らの学びを求める生徒の育成～学びの本能にスイッチを入れる授業づくり～』を主題とし、生徒と教師が共にワクワク・ドキドキする、生徒が自分事となる企てる授業に取り組んできた。授業の様子から子どもたち同士の関わり合う姿、仲間のヒントから間違いに気付いたり、授業が終わっても自分が納得するまで問題を解いたりと学び続ける姿など多くの成果が見られるようになった。

しかし、学びを求める姿が見られた一方で、次の学びへと繋がるころまでは到達できなかった。また、非認知能力（生きる力など）は伸びたと感じたが、認知能力（各教科の定着）には課題が残った。知識の定着には、昨年度から導入された「A I ドリル」等を活用しながら、個別最適な学びを模索していく。授業では、デジタルにはできない教科の本質的な面白さに迫ることや「なんで？」「どうして？」という疑問から自らの学びを求め、自分の頭で考え深い学びに繋がる生徒の姿を育てていきたい。

そこで今年度は、遊佐中学校で取り組んできた「学びの本能にスイッチを入れる授業づくり」や「教科の本質的なおもしろさを感じ得るような探究的な授業づくり」を行いながら、日常の生活から「なんで？」と疑問を持ったり、すぐに答えを求めて学びが終わってしまうのではなく、間違ってもその間違いからヒントを得て次に挑戦したりと、生徒が自らの学びの本能（遺伝子）にスイッチを入れ、もっと学びたいと「学びに夢中になる姿（学び続ける姿）」を見取れる授業づくりを探究したいと考え本主題を設定した。

これからの予測困難な社会において重要となるのは、自らの人生を「舵取り」できる自走する学習者を育てることである。その基盤となる「主体的に学習に取り組む態度」とは、単なる行儀の良さではなく、好奇心から始まり、自ら調整し、対話で深める「循環」のプロセスを回す力であると捉え、日々の実践を重ねていきたい。予測困難な社会であるからこそ、未来の幸せも大事だが、今の幸せを優先する意識を忘れないでいたい。

## 3. 日々の授業・研究推進に臨むうえで共有しておきたいこと

今年度の「育成を目指す資質・能力」を身に付けるために必要と考えた指導・取り組み

(1) 確かな学力の育成を意識した取り組み “多様性への対応” と “学力の底上げ”

### ◎学力格差・好奇心格差への対応

- ・教える側の「問い」→疑問をもたせる導入
- ・困っている子が考える「問い」
- ・つまづきの解消→「わからない」を大切に、「わからない」ことに気づく
- ・「わからない」の価値に気づく。わからない人が堂々としていられる教室
- ・多様な子どもたちの包摂 → 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「共通の土台」と「個別の柔軟性」を持たせた2階建て構造の授業づくりを意識する。
- ・ICTの活用
  - ICT環境の整備（タッチペン等）

- 生徒と教員を対象とした、ミライシード・オクリンクプラスの使用方法を理解するための研修会を開催
- タブレットやアプリの活用（ゲーム感覚）で「なんとなくわかってきた」という実感を促し、生徒が苦手とする「読み・書き」へのハードルを下げることで「わかってくると、やりたくなる」状態（自走する学習者）へと導く。



表面的なインプットだけではない、概念的な理解を深める

### 【キーワード】 人権感覚が豊かな生徒を育成する教育活動

- 共生の作法(違いを認めるだけでなく、歩み寄る努力)
- 「全員が参加できる授業」へのこだわり（誰一人取り残さない、多様性の包摂）
- 課題に対して試行錯誤できる力
- 特別支援教育にかかる教職員の専門的な力量

#### ① 「**つながり**」を意識した授業づくり

- 全体とのつながり、子ども同士（グループ）のつながり、教師と子ども一人一人のつながり
- そのための「問い」
- 各教科の学びと総合的な学習の時間の学びとのつながり  
※聴き合うことを大切にしたつながり

#### ② 「**ちょい難**」課題の設定（授業や単元を通して）

#### ③ **ミライシード**の効果的な活用（長期休みでの課題に利用など）

#### ④ **アクティブリコール**の奨励

#### ⑤ 教師、生徒が「**わくわく、ドキドキ**」する授業。教師と生徒と一緒に**もがく**体験を。

- すぐに答え、正解を欲しがらない。自分で答えを見つけようとする姿勢。
- 教師は「教える人」から「環境を整え、伴走する人」へ。子どもの実態を把握し、適切なリソース（人・もの・デジタル）をコーディネートし、学びをデザインする高度専門職としての役割を意識する。

### (2) 主体的な発展学習（家庭学習）

#### ①授業と関連付けた発展的な学習の奨励とスケジュールデザインする力と習慣の育成

- ホワイトボードによる各教科の予定の管理
- 日常生活でのスケジュール手帳の活用

#### ②「**確かな学力**」の育成と家庭と連携を図りながらの学習習慣の確立

- 保護者への学びのプロデュース（本の紹介など）

### (3) **各教科の知識・技能の定着**

#### ①知識・技能の定着に向けた手段・選択（短期記憶→長期記憶への変換）

- 覚えたことを、能動的に思い出す、記憶から引き出す（アクティブリコール）

## 4. 今後の予定

### (1) 年3回の校内授業研究会を行う。特別支援教育、総合、教科の授業を行う。

生徒の姿を見取るために、教科横断的なグループ編成をする

- ① 全職員で参観し、事後研究会は前半をグループで話し合う。後半を森田先生からの指導を受ける。
- ② 提案授業は、○○○・・・

(2) 校内授業研究会 (指導: 山形大学 准教授 森田智幸先生 遊佐町教育委員会)

① 4/20 (月) 特別支援教育研修会

鶴岡養護学校 五十嵐 仁校長先生 「障がい種に応じた授業づくり」

② 5/26 (火) 校内授業研究会① 特別支援教育

鶴岡養護学校 五十嵐 仁校長先生

授業者:

③ 10/16 (金) 校内授業研究会② 探求 Day (総合) 教育事務所サポート訪問依頼中

授業者:

④ 11/16 (月) 校内授業研究会③ 教科 (5教科と技能教科)

山形大学 森田智幸先生

授業者: ( ) ( )

## 5 学校研究を考えるにあたって

【これからの社会で求められる力】 (次期教育振興基本計画について (答申) 一部抜粋)

「激しい変化が止まることがない時代」において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通して、持続可能な社会を維持・発展させていく」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」「起業家教育 (アントレプレナーシップ教育)」「自らの人生を舵取りする力を身に付けること」

【これからの教育の姿 ~3つの柱~】

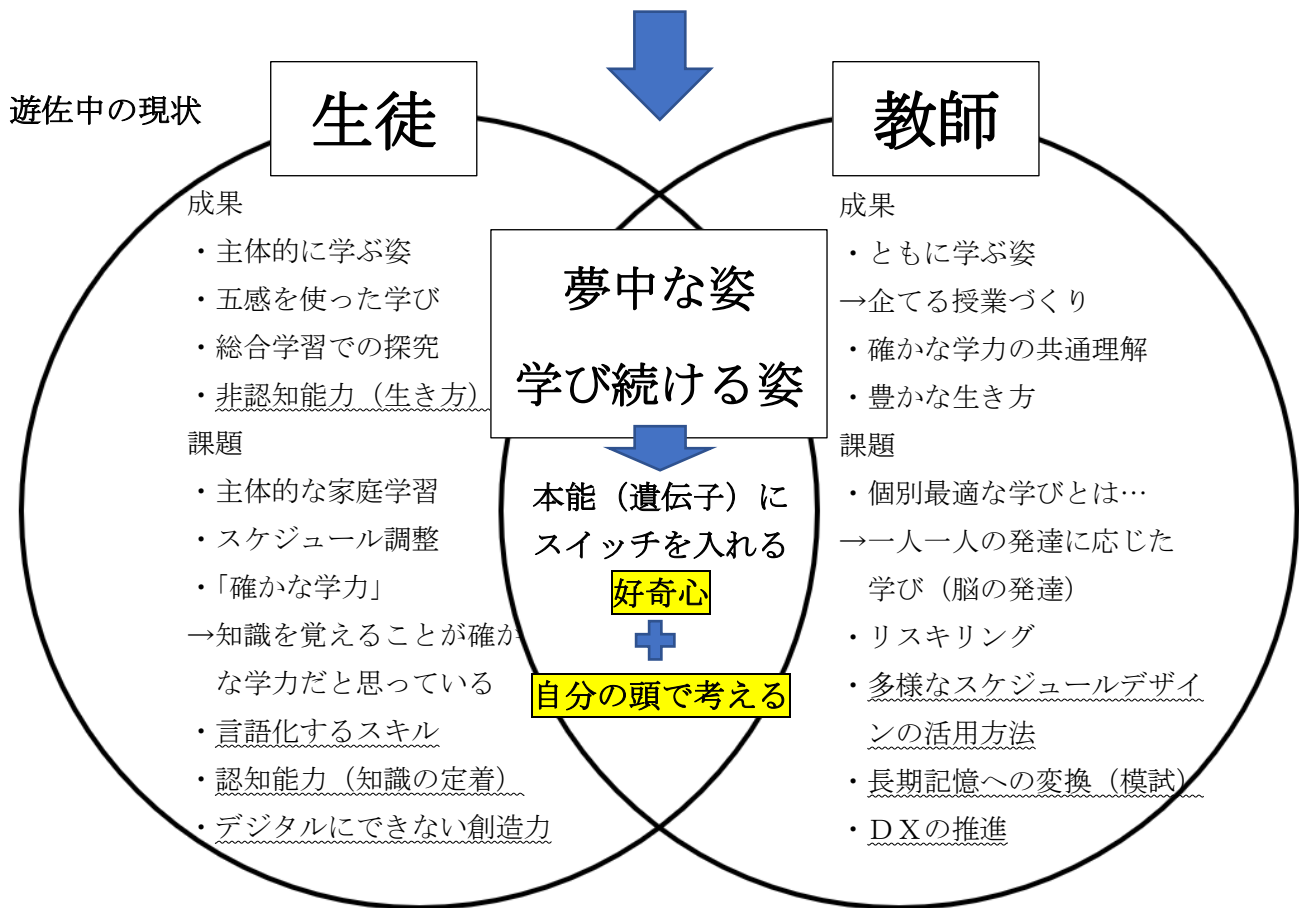
予測困難な社会で、自らの人生を「舵取り」できる人を育てるために、今の教育を以下の3つの柱で見直す。

1. 主体的・対話的で深い学びの実装: 質の高い学び
2. 多様性の包摂: 誰一人取り残さない、複眼思考
3. 実現可能性の確保: 教師と子ども双方が余白を生み出せる仕組み

【学びに向かう力 (自走する学習者) を育む循環プロセス】

「主体的に学習に取り組む態度」とは、真面目に授業を受けるといった行儀の良さではなく、以下のサイクルを自ら回す力であると考えられる。

- Step1: やってみたいという気持ち (好奇心の起点)
- Step2: 自分の学びを客観視し、修正する (メタ認知と自己調整)
- Step3: 他者からのフィードバックを得て、また次の好奇心へ (対話による深化)



#### 参考文献

- ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則
- ・次期教育振興基本計画について（答申）【概要】 令和5年3月8日 中央教育審議会
- ・全国中学研究校便覧 第34集 令和4年6月 全日本中学校長会編
- ・「社会を変える学校、学校を変える社会」 時事通信社（工藤勇一 植松努）
- ・「精神科医がすすめる これからの生き方図鑑」 光文社（樺沢紫苑）
- ・総合型選抜に強い異端の教育（岡田武史） <https://youtu.be/2UtK1P3kv1g?si=iFn5kwHVmcmdCRX8>

#### 追加（R7）

- ・初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について 令和6年12月25日 中央教育審議会
- ・第4期 教育振興基本計画 令和5年6月16日 閣議決定 文部科学省
- ・「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会 中間まとめ 概要 中央教育審議会
- ・「同じ勉強をしていて、なぜ差がつくのか？」 ディスカバー携書（石田勝紀）
- ・「まんがでわかる『学力』の経済学」 ディスカバー（中室牧子）
- ・子どもの自己肯定感（石田勝紀） <https://youtu.be/b4dDvu8iG1E?si=yyq-PDwEv0pB3cfJ>
- ・最高の勉強法（安川康介） [https://youtu.be/2nWseMdnT1c?si=kJnHsb\\_CnNIvy8CD](https://youtu.be/2nWseMdnT1c?si=kJnHsb_CnNIvy8CD)
- ・文部科学省 教育課程企画特別部会 論点整理 令和7年9月25日 中央教育審議会 [https://www.mext.go.jp/content/20251020-mxt\\_kyoiku01-000045486\\_06.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20251020-mxt_kyoiku01-000045486_06.pdf)

#### 【4月6日 職員会議 ワークショップ】

- ① 学びの本能にスイッチを入れる起爆剤となる活動は？各教科や、これまでの経験でこれはよかった！というエピソードを出し合ってシェアしましょう。
- ② 11月の授業研に向けて、授業をやりたい、この教科の授業が見たい、この先生の授業が見たいというリクエストをお願いします。